



第30回 全国健康福祉祭あきた大会

ねんりんピック秋田2017



秋田からつながれ! つらなれ! 長寿の輪
平成29年9月9日(土)~9月12日(火)

岐阜県選手団派遣記録誌



平成29年9月9日(土)から12日(火)までの4日間にわたって、「第30回全国健康福祉祭あきた大会 ねんりんピック秋田2017」が秋田県で開催されました。

岐阜県からは、岐阜県選手団として、181名(22種目、監督・選手171名、役員10名)が参加し、全国から集まった選手とスポーツなどを通じて交流を深め合いました。



結団式

8月30日(水)OKBふれあい会館で、各競技種目代表者1名が出席し、岐阜県選手団結団式を行いました。

尾藤米宏清流の国推進部長から岩原輝夫団長(グラウンド・ゴルフ)に団旗が授与されました。

尾藤部長励あいさつ、岩原団長から決意表明がありました。



尚、今回の大会には県選手団の団長という重責を背負っての参加、関係各位の皆さんご指導、協力を賜り誠にありがとうございました。

名古屋駅より新幹線にて東北盛岡駅下車、バスに乗換え県選手団関係者181名は、見渡す限り360度黄金色の広大な田を眺めてホテルへ。翌朝秋田県立中央公園県営陸上競技場へ各県別整列場所にて、小学生(キッズ)との交流会。県横断幕をキッズの皆さんが手作りで作成、それを受取り交流会。色々と交流を深め心からの歓迎に感激しました。

県選手団は横断幕とマフラータオルで入場行進、全国より1万人の選手が集い「秋田からつながれ!つらなれ!長寿の輪」をテーマに秋田県の方々約2千人の創作パフォーマンスの演技と竿燈祭りの披露があり、会場全体で拍手が沸きすばらしい演出に感動、9月8日の夜に震度5強の地震発生。9日に宿泊予定のホテルの一部に被害があり翌早朝も地震で目覚め、会場の大仙市秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場へ。16ヘクタールの広大な芝生会場でコース、施設環境共にすばらしい所でありました。式典開式直前雷雨の音、屋内へ移動の放送、休憩所内で式典続行、外はドシャ降りの雨でプレー開始が1時間半遅れ、開催合図の打上花火スターマインが上がり、又プレー開始も花火、鳴り物でのスタートでしたが楽しく競技する事が出来ました。大会を通じ各県の選手又地元スタッフの方々と友好を深める事も出来、3年後は岐阜大会へとアピール。色々アクシデントもありましたが思い出多い大会となり感謝しております。



岐阜県選手団

団長 岩原 輝夫

(グラウンド・ゴルフ)

総合開会式

9月9日(土)秋田県立中央公園県営陸上競技場(秋田市)で、さわやかな天気恵まれ、総合開会式が行われました。

67の都道府県・政令市が行進しました。岐阜県選手団も櫻本幸二旗手(剣道)を先頭に、元気に明るく行進しました。

様々なアトラクションや心のこもったおもてなしで、歓迎を受けました。



秋田まごころKIDSとの交流

総合開会式の待ち時間を利用して、地元の小学生(秋田市立御所野小学校)秋田まごころKIDSと交流をしました。

選手から秋田まごころKIDSたちへの質問コーナーでは大変盛り上がり、笑いが絶えませんでした。

総合開会式では、秋田まごころKIDS手作りの横断幕を選手が持ち、キッズと一緒に入場行進をしました。



3年後に岐阜で開催される大会には、選手又はホランティ
アとして、何らかの形で参加出来ればと思っております。
最後に、県関係団体担当の皆様には諸準備から選
手団の秋田までの同行など、献身的なご努力に対し感
謝に堪えません。有難うございました。

有意義な大会でした。
残念ながら、予選リーグ突破出来ず。しかし、全国の
剣士と交流でき「生涯剣道」を目指す者としては大変
有意義な大会でした。

いよいよ入場行進。貴賓席正面では岐阜県選手団を
アピールするため、団旗を出来るだけ水平高く力強く
掲げ、旗が風になびくのを両手で、観覧席からの拍手
を体で感じながらの入場行進は無事終了。

開会式当日、宿から会場へ出向くバスが出発直前に
故障し焦りましたが、県スタッフの懸命な尽力により
無事会場に到着。

その後は、地元の稽古は勿論の事、月1回の岐阜剣
連主催稽古会(平成32年岐阜大会に向けた強化稽古)
も参加し、旗手を引受けた充実感を感じつつ稽古に励
みました。

選手団の先頭で団旗を掲げ岐阜県をアピールする事
を考えると、プレッシャーを感じました。家族・友人
から「名譽な事・誰でも出来る事では無い。」との励
ましを受け、やる気が湧いてきました。

後日、監督の神谷先生から「今年の総合開会式入場
行進の旗手は剣道の番。大将の櫻本さんに引受けて欲
しい。」旨の連絡があり、断る理由もなく軽い気持ち
で引受けました。

今年5月中旬、秋田大会剣道競技の予選会。
私は70代の部で運良く優勝。団体戦大将のポジショ
ンで参加する事となりました。



岐阜県選手団
旗手 櫻本 幸二
(剣道)

テニス

9月8日(金)の朝7時15分、近くのバス停から岐阜駅に向かった。「いよいよ大会が始まるんだな。」とドキドキと心が騒いだ。名古屋駅には少し早めに着き一路戦いの地、秋田に向かった。9日は、壮大な総合開会式に圧倒されたが、他県の選手とも会うことができ少し心が落ち着いていた。10日、予選が始まり、昨年度優勝の三重県と戦い勝利。埼玉県や島根県も破り、予選1位で通過することができた。チームの心が、一つになっていくことが感じられた。11日の決勝トーナメントでも、福岡県、浜松市を破り、快進撃を続けた。しかし、準決勝で優勝した千葉県に惜敗し、3位でした。疲れたけれど、とても楽しく感激した大会でした。県の大会関係者の方に感謝。



太極拳

バンザイ！入賞という目標を達成です。「8位 岐阜県」と審判長からコールがあった時には、顔を見合わせ、手を叩き、喜びが爆発しました。

太極拳の順位は、5人の審判の平均点で争われます。私達は、4チームが8・86の同点。発表まで順位がわからずドキドキでした。何しろ8位と11位では雲泥の差です。4チーム中、最初にコールされた時は、本当に嬉しかった。岐阜に帰ってきてから嬉しかった。「おめでとう」と声を掛けられ一層嬉しさが増しています。ありがとうございます。

3年後の岐阜大会開催時には、上位入賞を目標に少しずつ順位を上げていければと思っています。



健康マージャン

清流の国ぎふチームは、堀井幹雄、曾我部俊男、井川克忠、堀江宣良の代表4人で県大会250余名の内の上位から選ばれた立派な雀士です。団体戦は4人で戦いました。団体戦とは都道府県と政令指定都市のチームが参加して全4回戦、各4チームの総合ポイントで順位を競います。私共清流の国ぎふチームはチームワークを密に個人個人が日ごろの力を発揮すれば必ず良い結果が生まれるとお互いを信じ戦った。結果総合ポイント111.3点と全員が(+)で団体戦5位と立派な成績で入賞を果たしました。はからずも秋田のねりんピックは第30回と節目の年。「清流の国ぎふ」をPRすることが出来ましたし私共4人ととても良い思い出になりました。



水泳

竹下 龍彦

秋田大会の総合開会式では、壮大な竿燈祭りに感動し、小学生達の大歓迎に感激しました。

レースでは、バタフライ50m・自由形50m共に優勝することができ、表彰式で、じわじわ喜びが湧き上がってきました。これほどうれしいことはありません。水泳が好きで仲間と続けてきて本当に良かったです。

今回の大会でも、秋田の選手や各県の友達との再会を楽しみに、また競い合って練習に励みます。

この経験を3年後の岐阜大会に生かし、選手として役員としても活躍したいと思っています。



水泳

兵頭 美枝子

選手の皆様と秋田に初めて訪れました。地元の人との出会い、お世話を受け清々しい総合開会式でした。競技会場は立派で驚き、このプールで泳げる喜びを感じ練習してきた成果を出せるか不安がありました。

レースは名前コールのパフォーマンスも役員のアドバイスで出来、スタート台に立った時は全てを集中させて泳ぎの中に入って精一杯気持ちよくゴール出来ました。生涯スポーツに水泳を続けて良かったです。ねんりんピックは全国大会で、お国なまりで競技の話が出来る場所です。先輩方々の元氣と泳ぎを見習います。幸運にも2種目のメダルを手に出来、嬉しかった秋田です。



マラソン

赤梅 昭三（最高高齢者）

第30回全国健康福祉祭あきた大会に出場の機会を頂き光栄に思いました。

今大会では、「高齢者賞」を頂きましたが、今年の6月には日本マスタース陸上競技連合から、長期登録20年の表彰を受け重ねての喜びでした。

走ると言ってもこの年ですから、速く走ることよりも、スタートに立つたら5kmでも3kmでも、最後まで完走することを目標にしています。また現在の力では、1kmを10分以内に走れるよう練習しています。秋田大会でも3kmを28分余りで完走しました。

「何歳まで走りますか」とよく聞かれますが、その時は、生涯走りたいという願いで「走れなくなるまで」と答えています。今後は、曾孫(3歳)と一緒に走れることを楽しみにしています。





卓球

◆ 岐阜清流チーム

斎藤 豊・西田 富夫・久保田勝治・岩間 一雄
宮田タミ子・熊谷 房子・杉山 隆子



秋晴れの空のもと、総合開会式が1万人の行進に始まり、アトラクションでは竿燈祭りの素晴らしい実演に感動し、思わず何枚もシャッターを切りました。翌日からの横手市での卓球交流会は、72チームが参加しました。卓球台をすべて新調して頂き、気持ち新たに試合に臨みました。岐阜清流チームは1次リーグ3位、2次リーグ2位と

なり、残念ながら決勝進出はなりませんでした。翌日は他県の試合を応援しながら皆さんとの交流も出来ました。最後の日は小雨の中、角館、田沢湖、そして念願の乳頭温泉にも入れました。横手の方の温かい心使いや、同行して下さった岐阜県のスタッフの皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございます。



テニス

◆ 清流シニア岐阜

毛利 正志・水野 庄作・草薙 脩
山田 典美・神谷真佐子・久木啓次郎



全国から選ばれた1万人が、秋田県立中央公園県営陸上競技場に集結し、素晴らしい式典と数々のアトラクションに、皆が感動しました。

翌日テニス競技は、中央公園テニス場に場所を移し、熱戦の幕を開けました。岐阜県チームは、昨年度の優勝県である三重県を接戦の未破り、その勢いで予選を1位で通過しました。その翌日、福岡県に完勝し浜松市に競り勝ちました。いよいよ準決勝、しかし優勝した千葉県に惜敗。あと一步でしたが、過去最高の3位入賞でした。メンバー全員的心と鍛錬の成果だと胸を張り会場を後にしました。ちなみに、70歳以上の草薙さんと水野さんは、全勝という快挙でした。



ソフトテニス

◆ チーム美濃 T A・K A・K O

安藤 高子・安藤 清・伊藤 要一・原 三代
 三方 孝子・今村 東・松本 孝子



秋田市での総合開会式は、秋天に高く差し上げられた町紋入り提灯がグラウンドに入り、太鼓と笛の音で一気に竿灯祭りへと様変わりしました。参加者一同、ねんりんピックへの気持ちが一気に成る瞬間でした。

ソフトテニスは一路大館市へ。大会1日目はいきなりの激しい雷雨で、試合開始を遅らせて始まりました。当県は山形県・島根県・千葉市の4チームのリーグ戦で2位でした。2日目のトーナメントは堺市との対

戦で、1ペアが棄権というアクシデントの中惜敗しました。選手一同が一喜一憂し他県のチームと親睦を図り、貴重な4日間を過ごすことが出来ました。秋田県並びに岐阜県の役員・スタッフの方に改めてお礼申し上げます。



ソフトボール

◆ 各務原フレンズシニア

太田 誘・小林 暁・森 雅徳・岡本 敏
 上南木敏弘・山本 直晴・坂井 武義・堀 勝
 大野 勝也・矢島 仁司・黄原 勝明・境田 富明
 西岡 忠晴・板津 秋義・岩田 光伸



総合開会式は、晴天のもと県宮陸上競技場で行われました。式典やアトラクションには驚きの連続でした。ソフトボールの試合は矢島ソフトボール場で第1日目に開催されました。相手は静岡、6-1で圧勝。

2試合目は福島と対戦、5-0で1日目は完璧な試合運びで、気分良くホテルに帰ることができました。2日目は愛媛と対戦。3-1でこの試合も勝利したので、ひよことしたら優勝戦までいけるんじゃないかと



淡い期待をもっていました。次の2試合目の相手は京都で1-3で思わぬ敗退、先程までの淡い期待が吹き飛んでしまいました。結果はベスト8だったが成績云々より、まずは岐阜県のスツップの皆さんには大変お世話になり有難うございました。



ゲートボール ◆ 宇留生

下村 敏彦・山田 修子・山中美智子
山口 修一・一柳 国子



ねりんピックに参加するのは、第26回高知県大会以来の出場になりました。今回の秋田大会での総合開会式は、想像以上に感激致しました。テレビ等で国の重要無形民俗文化財である竿燈まつりの映像を見る機会があつても、秋田県本場の意気のいい情景は、今でも脳裏に刻まれています。又、大館市ニプロロハチ公道ームでは、ゲートボール交流大会開始式での大太鼓、小太鼓の会場一杯に響きわたる演奏で、これまた



感動した次第です。さて、私達のゲートボールの思い出としては、レベルの高い会場で人口芝の調整がいき届き、ボールの転がり具合は良く、整備されていた。ただ、成績の方はいまいちの2勝1敗で予選敗退でしたが、楽しく過ごし、帰路に着きました。ありがとうございました。



ゲートボール ◆ 宇留生B

本田ひとみ・水谷 慶子・安藤 康子
不破まつ彥・米山 勝利



9月8日JR名古屋駅に選手団集合。1日かけてホテルへ到着。夕食は選手団全員揃つてのなごやかな交流の時間を過ごしました。9月9日総合開会式は、快晴に恵まれ汗ばむ陽気の中、キッズとの交流やアトラクション。中でも東北三大祭りのひとつで国の重要無形民俗文化財でもある秋田の夏の風物詩「竿燈まつり」なまはげ太鼓などの機会にしかお目にかかれないもので、とても感動し



ました。2日間の試合結果は1勝2敗と残念な結果ではありましたが、4泊5日の期間中、仲間がケガもなく病気もなく元気に帰ってこられた事が一番の喜びでした。最後にこの大会に尽力くださった皆様に心よりお礼申し上げます。



ゲートボール

◆ 上新町B

春日井一夫・西垣喜太夫・西垣 藤男
小川 堯・高坂 輝子・西垣 弘江



今回ねんりんピックに初めて参加させて頂きまして、まずもって県の関係者の皆様に大変お世話になりました事を、厚く御礼申し上げます。

い乗り降りできる場所がある事も、大変素晴らしい事だと思えました。
2020年にねんりんピックが岐阜で開催される時に、岐阜大会が素晴らしい大会になることを期待しています。いろいろな問題もあると思いますが、素晴らしい大会になる様今から期待しています。岐阜にも素晴らしい郷土芸能があり、素晴らしいアトラクションを期待しています。



ペタンク

◆ 飛騨高山

松林 英雄・辻 鉄太郎・辻 みゆき・中田 成行



当清見ペタンククラブは、立ち上げ20年その節目の年に連良く、まさかの全国大会に出場できました。しかしながら出場には、会場が遠隔地であり体調管理に不安もあり随分迷いましたが、折角の機会なのでチームの力量も省みず「飛騨高山」のチーム名で出場しました。総合開会式では、岐阜県選手団の一員として入場行進に参加でき、その規模の大きさと迫力に深く感銘を受けました。又、秋田県の伝統芸能等々見物できて非常に充実した一時を過ごすことができました。

大会では、全国のペタンク愛好者が一同に会し開始式がこれまた盛大に行われました。試合は85チームが17ブロックに分かれて4チームでのリーグ戦で行われ、どの試合も自然体で臨むことができ善戦できたので満足しております。しかし乍らどの試合にも課題が多く見つかったので練習方法を再考できればと思います。
決勝トーナメントに進出できなかった悔しさは心底にはありますが健康で大会に出場できた喜びと、全国のペタンク愛好者の方々と交流することができたこと等々、生涯の思い出ができました。これからも「お陰さまでそれなりに生かさせてもらっている」ことへの感謝を忘れず練習に精進し、地域の仲間づくりに努めたいと思っております。関係機関のみなさまには随分お世話になりました。ありがとうございました。



ゴルフ

◆ 岐阜県

伊藤 由員・金武 金吉・安江 正和



74歳になるこの年で大きな大会に出場できた事を、大変嬉しく思っています。朝7時頃ホテルを出発、競技場までの移動。入場行進までの待機は少し身体にこたえました。しかし、入場行進が始まると心がウキウキしてきました。観客席には大勢の人が手を振って、行進一体となったこの瞬間に感動しました。10日の練習日の朝、滝のような雨が降り、40分程スタートが遅れました。これも何か意味があるのか？他のチームの方との和合が出来良い時間



だったと感じました。試合当日は天気にもぐまれ、開始式に参加、とても感激しました。又いつか参加出来ればと、今後とも元気に身体を維持し、精進してまいります。ありがとうございました。



マラソン

◆ 岐阜清流走友会

赤梅 昭三・小鞠 栄二・酒井ミユキ
片倉 久一・浜中 好美・井尻 光



「スキーと駅伝のまち」鹿角市、花輪スキー場の麓にある陸上競技場をスタート、ゴールする起伏の激しいコースに3km、5km、10km、3部門に各2名が出場しました。当日は朝から雷雨で中止になるかと思われる天気でしたが、スタート時は快晴となり暑い中でのレースとなりました。地元鹿角市出身世界陸上選手権女子マラソン初の世界チャンピオンとなった浅利純子氏のスタートで10kmの部からスタート。我々岐阜県チーム



は全員完走し、各部門2位、3位、4位、6位と4名の選手が入賞する事が出来ました。又、岐阜県選手団最年長89歳の赤梅氏はマラソン出場者全国3番目で表彰されました。全員が、秋田の地を楽しく走りきれ、関係者の方々に心から感謝申し上げます。



弓道

◆ 岐阜清流チーム

前野日出男・鈴木 隆文・松下 静子・鈴木 公子
馬場 正・久保田教二・林 淑子



今年の弓道岐阜県チームの構成は恵那、瑞浪、羽島、各務原、可児より選抜の8名でしたが、1名が身内の不幸により急遽不参加となり7名での参加となりました。

今年の弓道秋田大会はレベルが高く、残念ながら予選敗退となりました。結果はともかく全国の選手と交流をはかり、3年後の岐阜大会をアピールする事が出来ました。

最後に秋田大会の円滑な運営に尽くされた競技役員、始めボランティア補助員、



岐阜県スタッフの皆様には大変お世話になり感謝しております。ありがとうございました。



剣道

◆ 岐阜県選抜

神谷 正敏・稲田 尚行・瀬木 宏一・山崎 昌彦
箕浦 基雄・櫻本 幸二



剣道交流大会は、由利本荘市総合体育館で開催され、全国各地から67チームの参加。大会1日目は、予選リーグ戦。2日目は、決勝トーナメントという日程。

1試合目は、大分県と対戦。2勝3引き分けで勝ち。続く2試合目は、和歌山県と対戦し、1勝2敗2引き分けで負け。

予選リーグを突破することはできませんでしたが、岐阜県の選手は、一戦必勝という気持ちで、どの試合



も優勢に戦うことができたと思います。

大会会場や宿泊先では、他県の皆さんとも交流を深めることができ、また、岐阜県スタッフの皆さんにも大変お世話になりました。感謝申し上げます。



グラウンド・ゴルフ

◆ 岐阜中濃

岩原 輝夫・高橋 照男・小森 文雄
市原 辻子・酒井 克子・山越 百代



私共の会場は大仙市の「秋田大田奥羽グラウンド・ゴルフ場」で東京ドーム2倍以上という広大な芝生会場で景観、環境共にすばらしい所でした。歓迎用の「のぼり旗」は地元小学生の手作りで「がんばれ岐阜県 ようこそ 花火のまち大仙市へ」と書いてあり、又多くのスタッフの迎えで心温まる歓迎でありました。オープニングでは学生さんによる郷土芸能、そして花火「スターマイン」で開催合図、競技開始も打ち上げ花火という花火の街。プレーに入りましたが上り下り坂と起伏が多くなると、楽しんでくれるコースでしたが、苦戦続きで成績は今一歩。でも(6人中)3人



にホールインワンが出て、まあまあでした。交流大会では地元高校生が各組2名入ってプレー。私の組へは女子で部活の話等を聞く事が出来、まるで孫と一緒に競技をしている感覚でした。又他県の選手とも休憩中に会話する事も出来、有意義な大会となりました。3年先は岐阜県大会なので是非参加くださいと声を掛けてきました。



太極拳

◆ 花芳(ファーフアン)

柳瀬とよ子・那波 厚子・伊藤すみ枝
桐山 恵子・馬場 理恵・榮田 好江



前夜の震度4の地震に驚き迎えた総合開会式は、晴天の下、思いの外の暑さの中『頑張ろう！オー！』と声を上げ行進しました。太極拳に親しんできた6人で結成したチームで、2月より入賞を目指し、稽古に励み、多くの方々の助言を受け臨んだ大会で、8位入賞でき感謝と感激で一杯です。御指導下さった先生、応援いただいた皆様、お世話になった県の担当の方々には、心より御礼申し



上げます。おかげで演武、順位発表等々どの場面も心に残る一日となりました。今後は、岐阜県開催に向け、更なる上位を目指し、より一層精進してまいりますと願っております。またその折には、全国から集う500名近い太極拳選手及び関係各位の皆様へ、より良いおもてなしができるよう太極拳連盟一丸となって進んでいきたいと思っております。



ソフトバレーボール

◆ MC可茂

竹内 正康・酒向 一雄・大嶋 芳則・西田 晶代
西野 詔子・佐々木直美・酒向 順子



例年、11月開催が今年は9月と早く、暑い中での出発でした。新幹線とバスの道中では、資料のおかげで他の種目の方達と親しく話をする事ができ、今までにない選手団の交流が図られたと思います。試合は大館市であり、1位グループ準優勝という結果でしたが、7人のうち4人は4回目の参加で、今回もメダルを獲得することができ、何

とか目標を達成しました。大会会場ではほつこうや地酒、ババヘラアイスなどのサービスマや秋田犬とのふれあいもあって、初めての秋田を実感すると共に楽しむことができました。全5日間の行程でしたが県や財団の皆様には大変お世話になりました。今後日々の練習に励み、次の参加を目指します。



サッカー

◆ 岐阜サッカーOB会

古川 那須 小林 河平 川合
貞夫・松波 宏治・鈴木 久樹・浅野 芳宏
実・池原 一嘉・岩本 吉樹・武井 桂司
秀孝・桑野 卓 福井 寛 武井 秀昭
俊彦・武井 豊司・久野 三慶 渡辺 秀世
公男・河田 健・藤井 誠



岐阜サッカーOB会は創立40年を超え、会員数も130名、各年代別(40歳、50歳、60歳、70歳以上)で活動中です。今回60歳以上の19名を集め、毎月練習を重ねてきました。結果は不運な判定もあり、Mプロック第3位でした。2日間の両会場ともピッチコンディションは最高で、2日目の仁賀保グリーンフィールド

は大きな観客席があり、地元の方の熱い応援もあり、皆が非常に満足していました。また、宿泊は人里離れており、夜のノミネーションは大いに盛り上がり、日頃のコミュニケーション不足も改善されました。しかし、翌日にその影響を持越したのが、今回の結果になったのかな?と反省しています。



水 泳

◆ 岐阜県水泳

清水 外治・竹下 龍彦・佐藤 幸博
兵頭美枝子・坂井田多恵子



ねんりんピック秋田大会は、岐阜の精鋭5名でリレー上位入賞という成績を挙げる事が出来ました。
秋田県立総合プールは、立派な施設でとても泳ぎやすく、今回は、バタフライ25m女子、50m男女、自由形50m男子で優勝する事が出来ました。

9月9日(土)の総合開会式では、小学生達の大歓迎と壮大な竿燈まつりのアトラクションに感激しました。水泳競技会場では、秋田の方々の手厚いもてなしを受け、名物の「きりたんぼ鍋」や「ババヘラ・アイヌ」を堪能し、水泳仲間と多くの感動を分かち合いました。岐阜県大会関係者・秋田県水泳連盟役員のスムーズな大会運営に感謝しております。
3年後の岐阜大会では是非、選手そして役員としても、今以上に練習し、身体を鍛えて、健康で大会に協力出来たらと願っております。



ラグビーフットボール

◆ 岐阜惑惑クラブ

竹村 直士・梶浦 重利・浅野 忠雄・大嶋 昭三
橋本 吉重・石神 和晴・馬場秀一郎・山中 敬
馬淵 俊紀・安立 修・杉山 正人・山口 敏文
吉本 敏彦・安田 義昭



ラグビーの交流大会は全国から22チーム総勢456名の参加で男鹿市総合運動公園にて開催されました。大会初日の朝はすごい豪雨と雷で一時はどうなる事かと思いましたが、試合会場に着くころには雨も上がり絶好のコンディションとなりました。我ら岐阜県チーム

は第一戦目がこの大会屈指の強豪東京都と当たり0対12と惜敗。翌日の地元秋田県との戦いは24対17の僅差で勝利し、1勝1敗で交流会を終え、又全員大きな怪我もなく無事帰県できた事に感謝すると共に、素晴らしい総合開会式を演出して頂いた秋田県関係者の方々、そして同行して頂いた岐阜県のスタッフの皆さまに感謝すると共に、2020年開催の岐阜大会大成功への思いが募ります。



ウォークラリー

◆ チーム清流ぎふ

長縄 良樹・南谷 勝子・河合 郁子
鈴木 一子・湯之下笑子



仙北市の秋田県立角館高等学校校駒草キャンパスにて、全国から205名が集い、岐阜県からは、レク大好き5人組が参加しました。

会場へ到着し、笑顔で迎えてくれた案内係の高校生と仲良くなり、地元のおもてなしに感謝。天候があまり良くなく、開始式には雷雨となり開催できるか不安でしたが、競技開始には雨がやみ、仙北市長さんを筆頭に、地元の太鼓で盛大にお見送りをいただき、無事にスタートすることができました。

角館の武家屋敷の風情を存分に楽しみながら、チームワークを発揮して様々な問題を解いてゴール。結果は、なんと9位入賞となり、優秀賞のメダルをいただくことができました。

2020年の岐阜大会、今から待ち遠しいです！



軟式野球

◆ オール古川

岡田 清・廣田 照夫・西本 光隆・戸田 博康
井上 俊昭・岩崎 良吉・井畑 正治・西矢 博樹
井西 憲市・柚原 規幸・長谷川 仁・熊崎 謙一
上谷 光夫・齋藤 彰・井西 康弘



ねりんピックが第30回を迎える中、軟式野球が競技種目に加えられたのは今回が2度目とか。この少ない機会に参加できた幸運に先ずは感謝。競技は4会場に分かれて行われ、我々は能代球場で8チームによるトーナメント戦に臨み、1回戦で青森県代表チームに完敗。翌日、交歓試合で茨城県代表チームと対戦し、接戦の末惜敗という結果となった。敗れはしたものの

良い球場で、温かい声援の中プレイできたことに感激。また、開会式アトラクションの見事な演技、各会場スタッフの懇切な対応、特に能代市職員の献身的な姿に感動。本当に素晴らしい大会だった。

最後に、大選手団をお世話くださった岐阜県の方々の皆様へ感謝を申し上げます。



ミニテニス

◆ぎふ清流ミナモト

金井 伍雄・柳原 明美・下平 良美・西浦 道子
近藤石五郎・江崎 正人・河田 正和



感動と少し緊張の総合開
会式に続き、男鹿市での合
同開始式では、我々と同年
代の方々によるベンチャー
ズの演奏でのお出迎えに
ビックリ。市長さんや会長
さんのユーモアあふれるご
挨拶になごやかな式典でし
た。

「がんばるぞミナモト」を
合言葉に、我がミナモチー
ムは、1日目6試合のリー

グ戦を行い、4位で決勝
トーナメント戦に進出。2
日目上位8チームによる決
勝トーナメント戦に挑む。
準々決勝で広島県に快勝、
準決勝で今回優勝の秋田中
央Aチームに惜敗、3位入
賞を果たしました。この経
験を3年後の岐阜大会に生
かしたいと思っています。
秋田の皆さんの心温まる
おもてなしと、県スタッフ
の皆さんに感謝の気持ちで
いっぱいです。



将棋

◆清流岐阜将棋

平井 睦宏・田原 直仁・橋本 勉



9月8日(金)～12日
(火)まで、ねんりんピッ
ク秋田2017に将棋の代
表として参加しました。8
日は往路移動日、9日は開
会式、10日は3人一組によ
るチームでの団体戦。11日
は個人戦でした。12日は帰
路移動日。結構な過密日程
で疲れました。

4チーム一組での団体戦
は、1勝2敗で2位となり
決勝トーナメントには出場
できませんでした。そのた
め翌日は個人戦に参加した
ものの、途中敗退でした。

今回の3人は全員初出場で
大会の雰囲気慣れる頃
には、試合は終わってしま
した。

3年後には岐阜で開催さ
れるので、今回は肩慣らし
と考え地元大会で雪辱を果
たしたい気持ちです。試合
後の感想戦の時間が無く、
対戦相手との貴重な対話時
間が取れず、運営方法に違
和感がありました。そうい
う点を地元大会では改善し
て、勝敗だけでなく親睦も
深められる対戦として欲
しいものです。



健康マージャン

◆ 清流の国ぎふ

堀井 幹雄・曾我部俊男・井川 克忠
堀江 宣良



今年の健康マージャン岐阜代表チームは250余名の内から上位4名と今迄にない強力なメンバー構成でした。今年こそ団体優勝を
と意気込みましたがそう甘くはなかつた様です。しかしながらチームメイトに恵まれ第5位入賞とはじめて「清流の国岐阜県」の名をPRすることが出来まし
た。特に秋田のねんりんピックは第30回という節目



の大会です。私共の記憶に残るねんりんピックでした。
第2日目の個人戦は前日の祝杯の度が過ぎたか、全員不成績に終わりました。又機会がありましたら、このメンバーで再度戦いたいと思えます。
この大会を通してまた他県の友人が増えました。大変有意義な大会でした。次回も頑張つて代表を勝ち取りたいと思います。



囲碁

◆ チーム岐阜

和田 典明・吉川 文夫・松波 あや



囲碁は久しぶりの参加でした。若手期待の和田氏、元気潑刺とした松波さん、ねんりんピック経験豊富な吉川とチームワーク良く入賞を目指しました。
会場が国登録有形文化財の旧料亭「金勇」で環境は申し分なでした。しかし意気込みが空廻りしたのか初日チーム成績1勝5敗と大惨敗してしまいました。2日目は3勝3敗でした。
個人トータルで大将戦和田氏が3勝1敗で表彰されました。
試合後ミニ観光ツアーに



参加してJAXA宇宙航空研究開発機構と籠球の聖地能代工業高校を訪問してきました。囲碁交流と観光と十二分に満足いく大会でした。能代市の皆様ありがとうございました。

美術展

9月9日(土)～12日(火) 秋田県立美術館(日本画・洋画) 秋田県総合生活文化会館アトリオン(彫刻・工芸・書・写真)の会場で美術展が開催されました。

部門	題名	氏名
日本画	森のよろこび	藤井 利昌
日本画	秋溪	中川 ゆう
洋画	雨上がりの街角	土井 豊
洋画	木々秋色	森岡志き子
彫刻	地藏菩薩像	樋口 勝彦
彫刻	聖観音像	河上 榮吉
銅賞 ▶ 工芸	誰がために	西部 泰子
工芸	つるし飾り	國井美さ代
銀賞 ▶ 書	管訥詩	後藤 操
書	唐詩 王鐸臨書	向井 智
銅賞 ▶ 写真	みんなでお昼寝	伊藤 武徳
写真	ひと休み	尾藤 榮子



全国から537名(作品)が出品されました。
 岐阜県からは6部門12名(作品)を出品し、
 銀賞：後藤 操さん(書)
 銅賞：西部 泰子さん(工芸)
 銅賞：伊藤 武徳さん(写真)
 が受賞されました。

銀賞 書 後藤 操

私の拙い作品が入賞するとは思っていませんでしたのでお知らせいただいた時は本当に驚きました。これまで40年近く健康に恵まれて続けてこれましたことを幸せに思い、支えていただいた多くの方に感謝の気持ちでいっぱいです。書道の魅力は一人で自分の好きな時間にやれること、そして心を無にできることです。自分の納得できる作品はなかなか書けなくいつも不完全燃焼ですが、若い頃師からの「書道の最後の目標は人格の完成である」という言葉を胸に刻み、これからも健康に留意しつつ精進したいと思います。



美術展



銅賞 工芸 西部 泰子

私の住む岐阜県美濃市は、和紙の産地であり本美濃紙の手すき和紙技術がユネスコの無形文化遺産に登録されています。和紙を材料とした「ちぎり絵」を制作しました。今回の作品「誰がため」には3ヶ月程かかりました。作品づくりに没頭していると知らないうちに夜遅くになっていくこともあり、作品が完成した時の達成感は何物にも代えがたいです。

今回はこのような賞をいただき驚くと同時に大変光栄で感激しています。指導いただいた先生、多くの仲間の皆さん、いつも私を支えてくれる家族に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも生涯作品をつくり続けたいと思っております。

銅賞 写真 伊藤 武徳

昭和60年ごろより亡き妻とカメラをぶら下げ風景・草花の瞬間を求めて各地を巡り、シャッターを切る瞬間の面白さ四季折々の魅力又、撮影の奥深さに取り憑かれ大きな生きがいとなりました。

今では、地元で行われる地歌舞伎(東野歌舞伎保存会)他、お祭り・イベントなど依頼を受け撮影を楽しんでおります。平成24年・29年と全国健康福祉祭へ岐阜県より推薦を受け、この度銅賞の受賞に喜びもひとしおです。

愛猫が子を産むたび、ただただ可愛らしさにシャッターを切り続けた一枚「題名 お昼寝」

これからも、健康に留意し毎回応募ができるよう、又、心惹きつける写真を撮り続けていきたいと思っております。

受賞に感謝！

喜びの言葉とさせていただきます。





総合閉会式



9月12日(火) 秋田県民会館(秋田市)で行われました。

岐阜県からはスタッフ3名参加しました。

団旗を返却し、大会メモリアル映像をみながら大会をふり振り返り、次期開催県である富山県に、大会旗が引き継がれました。



ねんりんピックとは

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心として、あらゆる世代の人が楽しみ、交流を深めることができる総合的な祭典です。ねんりんピックは、厚生省創立50周年を記念して、昭和63年の第1回大会以来、毎年開催されています。卓球、テニス、将棋などの交流大会や、美術展、音楽文化祭、講演会、健康フェアなどの様々なイベントを通じて、地域や世代を超えて参加者の交流の輪が全国に広がっています。

平成30年(第31回)は、富山県で11月3日(土)から6日(火)まで15市町村で開催されます。

2020年の第33回大会は、岐阜県での開催が決定しています。

ねんりんピックの歴史

岐阜県選手団は、第1回のひょうご大会から毎回150名程度、参加しています。

回数	年	開催地	参加種目数	延べ参加人数
1回	昭和63年	兵庫県・神戸市		8万
2回	平成1年	大分県		18万
3回	平成2年	滋賀県		23万
4回	平成3年	岩手県	12	27万
5回	平成4年	山梨県	14	30万
6回	平成5年	京都府・京都市	14	46万
7回	平成6年	香川県	15	55万
8回	平成7年	島根県	13	33万
9回	平成8年	宮崎県	13	43万
10回	平成9年	山形県	13	52万
11回	平成10年	愛知県・名古屋市	20	70万
12回	平成11年	福井県	18	46万
13回	平成12年	大阪府・大阪市	21	70万
14回	平成13年	広島県・広島市	17	61万
15回	平成14年	福島県	17	51万
16回	平成15年	徳島県	17	44万
17回	平成16年	群馬県	19	50万
18回	平成17年	福岡県・北九州市・福岡市	16	54万

回数	年	開催地	岐阜県選手団参加種目数	延べ参加人数
19回	昭和18年	静岡県・静岡市	20	57万
20回	平成19年	茨城県	21	48万
21回	平成20年	鹿児島県	19	54万
22回	平成21年	北海道・札幌市	16	53万
23回	平成22年	石川県	19	53万
24回	平成23年	熊本県	17	55万
25回	平成24年	宮城県・仙台市	15	51万
26回	平成25年	高知県	17	40万
27回	平成26年	栃木県	18	41万
28回	平成27年	山口県	20	54万
29回	平成28年	長崎県	18	55万
30回	平成29年	秋田県	22	52万
31回	平成30年	富山県	24(予定)	50万(予定)
32回	平成31年	和歌山県		

第33回大会(2020年)は
岐阜県で開催します



第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田2017）
岐阜県選手団成績

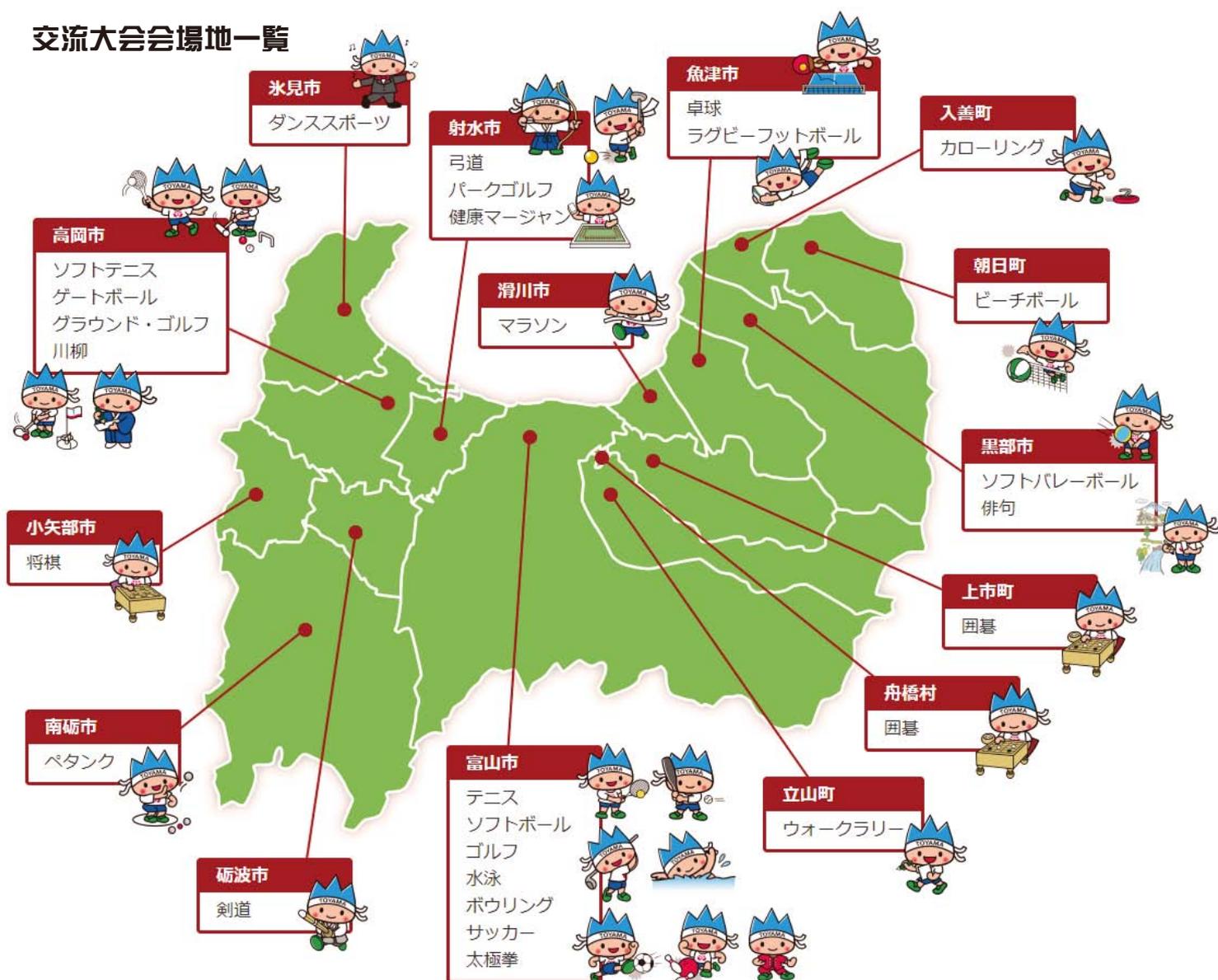
競技名	区分1	区分2	成績
卓球	団体戦		第3位グループ(Gブロック) 2位
テニス	団体戦		第1位グループ決勝トーナメント 3位
ソフトテニス	団体戦		第2位グループ決勝トーナメント初戦敗退
ソフトボール	団体戦		優秀賞(トーナメントベスト8) / 65チーム中
ゲートボール	団体戦	宇留生チーム	予選敗退(1コート(Bパート) 2位、2勝1敗)
		宇留生Bチーム	予選敗退(11コート(Bパート) 3位、1勝2敗)
		上新町Bチーム	予選敗退(8コート(Bパート) 3位、1勝2敗)
バタンク	団体戦		予選敗退(Jブロック3位、1勝2敗)
ゴルフ	団体戦		40位 / 53チーム中
	個人戦	安江 正和	70歳以上 49位 / 90人中
		金武 金吉	70歳以上 57位 / 90人中
伊藤 由真		70歳以上 69位 / 90人中	
マラソン	個人戦	赤梅 昭三	3km男子70歳以上 33位 / 36人中 高齢者賞(89歳)
		小鞠 栄二	3km男子60～69歳 3位 / 18人中
		酒井 ミユキ	5km女子70歳以上 2位 / 10人中
		片倉 久一	5km男子60～69歳 23位 / 32人中
		浜中 好美	10km女子70歳以上 優秀賞(6位) / 8人中
		井尻 光	10km男子60～69歳 優秀賞(4位) / 23人中
弓道	団体戦		予選敗退(35位 / 67チーム中)
剣道	団体戦		予選敗退(1ブロック3位 / 5チーム中)
グラウンド・ゴルフ	個人戦	岩原 輝夫	男子144位 / 247人中
		高橋 照男	男子216位 / 247人中
		小森 文雄	男子247位 / 247人中
		酒井 克子	女子 70位 / 147人中
		市原 辻子	女子 73位 / 147人中
		山越 百代	女子118位 / 147人中
太極拳	団体戦		優秀賞(8位) / 59チーム中
ソフトバレーボール	団体戦		第1位グループ(第2ブロック) 準優勝
サッカー	団体戦		Mブロック3位、1勝1分1敗
水泳	団体戦		混合100mメドレーリレー(281歳以上) 5位 / 22チーム中
			混合100mリレー(281歳以上) 5位 / 28チーム中
	個人戦	清水 外治	平泳ぎ80歳以上男子50m 7位 / 11人中 平泳ぎ80歳以上男子25m 6位 / 12人中
		竹下 龍彦	自由形75～79歳男子50m 優勝 / 8人中 バタフライ75～79歳男子50m 優勝 / 4人中
		佐藤 幸博	自由形65～69歳男子50m 8位 / 12人中 自由形65～69歳男子25m 6位 / 11人中
		兵頭 美枝子	バタフライ70～74歳女子50m 優勝 / 2人中 バタフライ70～74歳女子25m 優勝 / 5人中
		坂井田 多恵子	背泳ぎ70～74歳女子50m 準優勝 / 8人中 背泳ぎ70～74歳女子25m 準優勝 / 9人中
ラグビーフットボール	団体戦		1勝1敗 *表彰なし(交流試合のみ)
ウォークラリー	団体戦		枝垂桜コース 優秀賞(9位) / 20チーム中
軟式野球	団体戦		初戦敗退
ミニテニス	団体戦		3位 / 17チーム中
将棋	団体戦		予選敗退(L組2位、1勝2敗)
	個人戦	平井 睦宏	(大仙ブロック) 初戦敗退 / 16人中
		田原 直仁	(大曲ブロック) ベスト8 / 15人中
橋本 勉		(神岡ブロック) 初戦敗退 / 16人中	
健康マージャン	団体戦		優秀賞(5位) / 67チーム中
	個人戦	堀井 幹雄	森吉山ブロック 20位 / 68人中
		曾我部 俊男	マタギブロック 59位 / 68人中
		井川 克忠	大太鼓ブロック 58位 / 68人中
		堀江 宣良	あじさいブロック 53位 / 68人中
囲碁	団体戦		46位 / 59チーム中
	個人戦	和田 典明	くろまつブロック(男子) 優秀賞(10位) / 58人中
		吉川 文夫	あきたすぎブロック(男子) 43位 / 57人中
		松波 あや	さくらブロック(女子) 45位 / 45人中

第31回全国健康福祉祭とやま大会

ねんりんピック 富山2018

夢つなく 長寿のかがやき 富山から
平成30年11月3日(土)～6日(火)

交流大会会場地一覧



全国健康福祉祭(ねんりんピック)
第33回大会(2020年)は
岐阜県で開催します。



第30回 全国健康福祉祭あきた大会

ねんりんピック秋田2017

秋田からつなぐれ! つらなれ! 長寿の輪

平成29年9月9日(土)~9月12日(火)

交流大会
会場



©2015秋田県んだっチ

